

2019年(令和元年)11月4日

ガスエネルギー新聞

簡易両ガス確認装置

斎長物産

○問い合わせ 営業開発室 ☎03-6228-6941 担当:寺田
<http://www.saicho.co.jp/>

ガスバックに空気を送り、導管内で膨らませて作業を行う



一つの穿孔穴でガスの遮断と圧力確認ができる

斎長物産は、ガス、水といった生活に密着したインフラの整備に欠かせないパイプ・継手類を取り扱う専門商社として1902年より創業しております。専門商社として品揃えと機能とともに市場の要望をメーカーになど「パイプ役」として信頼をしていただいている、また、環境負荷低減などの観点にたつた新しい材料や工法・システムの開発にも取組んでおります。

2015年から18年と4年間かけて、幹事会社を北海道ガスとした8社

斎長物産は、ガス、水といった生活に密着したインフラの整備に欠かせないパイプ・継手類を取り扱う専門商社として1902年より創業しております。専門商社として品揃えと機能とともに市場の要望をメーカーになど「パイプ役」として信頼をしていただいている、また、環境負荷低減などの観点にたつた新しい材料や工法・システムの開発にも取組んでおります。

一般的な本支管工事においては、供給支障を未然に防止するために「両ガス確認作業」を行っています。これらの作業ではバイパスを必要としない作業時であっても、閉止用とバイパス用で3箇所の穿孔穴が必要であり、掘削面積は広く作業に時間を要しています。また、バイパス配管などの作業資機材が多く、運搬や設置など大きな作業負荷となります。

この両ガス確認作業での作業負荷とコスト低減を目的に、1箇所の穿孔で作業を可能とし、従来工法比約50～75%の削減が見込める。また本装置は、本支管（50 A～200 A）用の工具として、本体を共通化することで、製品としてのコスト低減も実現しました。

この他にも当社では、顧客からのニーズをもとにメーカーと「三位一体」となって新工法や新材料・新たな分野の開拓にも取組んでいきます。